

TOYBOX

2005.4
vol.8

Hello!Project Fan Magazine

ハロプロ研究①

DDは社会への第一歩

ハロプロ研究②

女性ファンから見たハロプロ

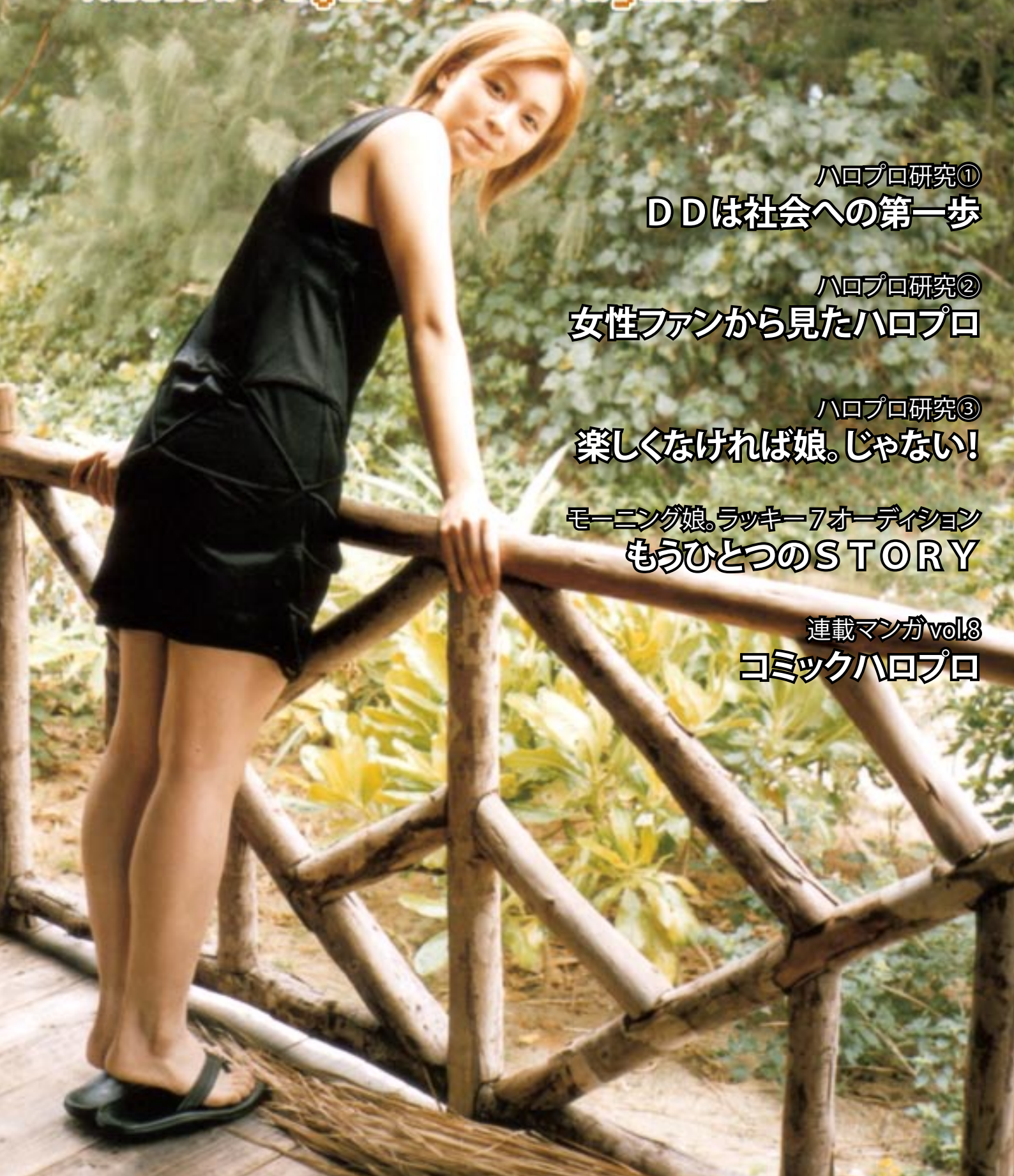
ハロプロ研究③

楽しくなければ娘。じゃない!

モーニング娘。ラッキー7オーディション
もうひとつのSTORY

連載マンガ vol.8

コミックハロプロ



“DDは社会への 第一歩” 文/まゆ

はじめまして。梨華ちゃん・ミキティ・雅推しのまゆです。基本的にDDに部類に分類されます(汗)でも、わたしと同じく、DDを名乗っている、またはDDだといわれる方は多いかと思えます。そんなDD方のために、そして「自分は一途だから、DDの気持ちに分らない」そんな人のためにDDを語ってしまおうと思います。(文章能力がないため、乱文乱筆で申し訳ないです)

まず、DDとは、そもそも「誰でも大好き」という意味で用いられています。しかし、私自身もそうですが、誰でもいいというわけではありません。「1人には絞れない」「梨華ちゃんも可愛いけど、ミキティも可愛いよなあ、あとあやも。」とかそんな感じではないでしょうか。つまり誰でもいいというわけではないのです。もちろん、ハロプロなら誰でも大好きという人も多少はいるでしょうが、やはり、その中にもお気に入りのメンバーというのはいらっしゃいます。これはあくまでも、わたしの個人的な意見なのですが、「推しメンバー」と「かわいいメンバー」のは別物ではないかと思うんです。もちろん推しのメンバーは可愛いんです、言いつくせぬくらいに。でも、普通に可愛いメンバーっていますよね。わたしで言いますと、なつちがそうですかね。推しではないのですが、常に可愛いと思うメンバーの1人です。もちろん、それも人それぞれで好みが違うでしょうから、いろいろ賛否両論あるかと思いますが、推しというの、大げさかもしれないですけど、「こ

の人に人生を捧げたい!」「キター」みたいなインスピレーションだと思っんです。わたしは日々、梨華ちゃんにインスピレーションを感じているのですが、もちろんミキティにだって、雅ちゃんにだって、あややにだって感じます。そんなメンバーこそが、自分の推しだとわたしは思います。ですから、DDというのはある意味で、感受性が強いというか、視野が広いのかなとたまに思います。自分でいうのも恥ずかしい話ですが、といますか、わたしのヲ友達を見て日々思うのです。わたしのヲ友達に究極のDDがいるのですが、やはり、視野(見る範囲)が広いですね。ある本には、視野を広く、いろいろな人間を見ることが社会への第一歩だと、書かれていました。私自身はそれを信じています。まだ、自分も中3で未熟すぎるので、DDで社会の道が開けたら、なんて思います。

もしかしたらDD、それは素晴らしい社会への第一歩なのかもしれません。きつと、多分・・・

みなさん初めまして！中2でミキティ推しのゆっこです。女の子の目線でハロプロを語りたいと思います。

女性ハロプロファンの方なら理解していただけるかと思いますが、女性ハロプロファンはとても少ないです(悲)少なくとも私の周りには誰もいません。なのでネットでハロプロファンと交流をしているのです。意見を聞いたり言ったりできるととても心地の良い場所です！

ところでなぜ女性ハロプロファンが少ないのか？周りの女の子の話を参考にして色々と考えてみました。それは「ぶりっこ」だから嫌なんだとか。さゆや亀ちゃん

女性ファンから見たハロプロ

文/ゆっこ

は「自分が一番可愛い！」と競い合っていますよね。(笑)まあ私はそんな2人をほほえましく見ているんですが。あとはやっぱり中学生にもなると同性より異性が気になるのではないかと思います。だったら私は一体……。まあ、それはいいとして(笑)でも、ハロプロファンじゃない子でもハロプロの中に好きな曲があるっていう子がいるんですよそれは「100回のKISS」「ずっと好きでいいですか」です。どうやらせつない系の曲が人気らしくて「THE LAST NIGHT」「赤い日記帳」なんかも好きな子がいます。私もわりとせつない系の曲が好きなんです。こんな感じで女性の好みがわかってきましたね。

ところで女の子の中で人気のあるハロプロメンバーは……。なっちなんです！(注・私の周りでは、です。)きつと憧れの存在なのだと思います。だって、とってもかわいいじゃないですかwww

やっぱり私はハロプロが大好きです。私の憧れとか夢とかがいっぱいつまっているのだと思います。「あんなふうにかわいくなれたらいいな」「あんなに細くて羨ましいな」などなどたくさんありますが、私はミキティの何と言っても「歌声」に惚れました☆なんて、あんなに魅力的な歌声なのでしょう……。少し鼻にかかったあの独特の歌声はとてもステキです。でも、なんといっても歌を歌うのが上手です。歌声に感情がこもっています。ミキティの歌声を聴くとリラククスできます。きつとまだま

だ細かい理由はあると思いますが、とりえずはこんな感じです。

さて、もう締め切られましたが「モーニング娘。オーディション2005」には応募しましたか？私はしていません。歌手になりたいわけではないので……。それに、憧れの存在に自分になれるとは思わないからです。

私とは逆の考えでモーニング娘。に入っただけがみなさんご存知の通り新垣里沙ちゃん。彼女は本当にモーニング娘。が好きで好きでたまらなくて、ただ単に歌手ではなく、「モーニング娘。」に入りたいと思っただけで、現させたとてもスゴイ子だと思います。彼女のように、またソロデビューを狙って応募した女性のみなさん頑張ってください！

結局私は何がしたいのだろう……。それはきつと今現在女性でハロプロファンの方で周りにファンがいなくて寂しく思っている方、そうそのあなた(笑)、ネットでは全国各地の大勢の女性ハロプロファンに出会えるはずなんです。なので、どうか希望を捨てずにこれからも楽しくハロプロファンを続けていって欲しい、ということなんです。

楽しくなければ 娘じゃない！

文／flight



ライブドアによるニッポン放送株大量取得に端を発したメディア争奪戦。防御体制の整ったフジテレビの反撃にホリエモンは・・・という話は別の媒体に譲るとして、やっぱり今回もモーニング娘。のお話です（笑）

二月上旬からテレビや新聞で連日報道されているのが、ニッポン放送をめぐるライブドアとフジテレビの対決の話題。この騒動を傍観していると、様々な要素が凝縮されていて、いろいろ考えさせられおもしろい。この騒動をヒントに今号と次号の二回にわたりモーニング娘。を分析していきたいと思う。第一回目の今回のテーマは、「楽しくなければ娘。じゃない」

「きっかけは〜、フジテレビー」

関東に在住でない方は見たことがないと思いますが、関東に住む方には馴染み深いこのフレーズ。これは現在のフジテレビのCM（キャッチフレーズ？）です。意味はよくわかりません。（笑）意味はわかりませんが、今回のこの記事を執筆しようと重い腰をあげたのは、まさにこのCMどおり「きっかけはフジテレビ」でした。

フジテレビというと、真っ先に思い浮かぶのが、今世間を騒がせているライブドアとの戦い（？）。ソフトバンクまで絡んできて、なんだか泥仕合の様相を呈しています。この一連の騒動のフジテレビのといった行動に、少し寂しい思いがしました。詳しい事情はわかりませんが、フジテレビの上層部はこのネタを使用したバラエティ番組を作るな！と、社員に通達したらしい。

今から20年以上前、視聴率獲得に苦労していたフジテレビは、「**楽しくなければテレビじゃない**」をキャッチフレーズに数々のバラエティ番組をヒットさせ、90年代前半まで12年連続で視聴率三冠王に輝く

という黄金期がありました。どんなネタでも、おもしろければ取り上げ、お茶の間に笑いを提供してきたかつてのバラエティ界の巨人らからぬ今回の方針。ライブドアの堀江社長がオープンで、おもしろいキャラなどにもったいないことをした。めちゃイケや、ワンナイ、はねるのトビらなどの番組でホリエモンをいじるとか、ライブドア本社に突撃取材するとか、やり方はいろいろはず。堀江さんが出演し収録が済んでいた平成教育2005予備校もお蔵入り。昔のフジテレビなら、きつと笑いにしていたと思いますが、笑いにできないぐらい、切羽詰まっていたようです。

さて、ここからがようやく本題。いきなり質問！**モーニング娘。の魅力とは何でしょう？また、ファンである僕らはモーニング娘。に何を求めているのだろうか？**

歌？ダンス？赤点なんて評価された子が頑張っている姿？元気いっぱいなところ？モーニング娘。に、平井堅や宇多田ヒカルのように、歌を聴きたいと歌を求めたり、EXILEのようなダンスを求めているファンはどれぐらいいるのだろうか？

ぶっちゃけて言うと、平井堅や宇多田ヒカルのような歌唱力やEXILEのようなダンスパフォーマンスの力はない。でも彼らに持っていないものがモーニング娘。にはある。それは「**楽しさ**」。

平井堅の歌は、じっくり聴きたくなる。対して、モーニング娘。の歌は聴いていると楽しくなって、一緒に唄いたくなる。E

XILEのダンスを見ると、「かつこい〜！すげー！」と感じる。それに対し娘。のダンスを見てみると、楽しくなって、見よう見真似で一緒に踊りたくなる。見ている人、聴いている人を元気に、楽しい気分にさせてしまうエンターテイメントな部分こそがモーニング娘。の最大の魅力なのだ。唄って、踊っているときの彼女たちの楽しそうな表情、可愛らしい仕草がスパイスとなり、より一層「楽しさ」を引き立たせるのは言うまでもない。

ブレイクのきっかけとなったLOVEマシーンでは、不況であった時期にもかかわらず、「日本の未来は世界がうらやむ」や、意味不明な歌詞にノリだけで「うおうおう」と唄ってみせた。またオープニングの陣形の奇妙なポーズや、手をし字にして突き上げる誰でも簡単に踊れる振り付けは、見ているものに楽しさを伝えることに成功した。

モーニング娘。はエンターテイメント。**楽しくなければ娘。じゃないんです。**では今のモーニング娘。は楽しさを伝えることができるのか？と考えていたとき、おもしろい話を耳にした。

今行なわれているモーニング娘。の春ツアーにおいて、曲中でさゆみんが美貴ちゃんにキスをするという事件があったらしい。しかも唇に。唇を奪われた美貴ちゃんは、一瞬何が起こったかわからないといった感じで顔を赤らめたそう。これは、娘。時代に辻ちゃんが得意とした技。観客を楽

しませるには、まずは自分たちがステージを楽しむ必要がある。加入して二年がたち、ようやく楽しみながらステージに立つ余裕ができた証。娘。のエンターテイメント性はしつかりと受け継がれているようです。**楽しくなければ娘。じゃない。**これから、引き続きモーニング娘。は笑って、唄って、踊って、僕らに元気と楽しさをくれるのでしよう。ただのアイドル、歌手、タレントで終わることなく、エンターテイナーであり続けて欲しいと願っています。

次号は、ライブドア側に焦点をあて、IT社会と呼ばれる現代において、既存メディアとインターネットとの融合を主張する堀江さんの考え方をヒントに、ITとモーニング娘。を考えたいと思う。題して、「インターネットがモーニング娘。にもたらしたもの」(仮名)です。乞うご期待。



コンサート中にミキティにキスをしたさゆみん。いっぱいいっぱいの状態から脱し、楽しみながらステージに立てているのでしょう



私が見たラッキー7オーディション もう1つのSTORY

文/えり

11月21日ついにこの日がやってきた。モーニング娘。のオーディションである。この日の為に情報を散々集め洋服を買い書類を作りいざ本番。東京ビッグサイトにはこれが2回目。しかし小さい頃の為ほとんど変わってしまい全くわからず。母と二人で警備員さんに聞きようやくビッグサイトに着く。どうやら会場は何個もあるらしく秋葉系のおじさんや着ぐるみを着た人、コスプレをしてる人など未知の空間であった。そして階段を上った所にモーニング娘。ラッキー7オーディションの会場があり係員さんが大きな声で言っていたのですぐわかった。途中階段を上る時に「モー娘。だ」とヒソヒソ言われたのが何だか面白かった(まだ合格してないんだけど・・)。

会場に着くと1時間前にもかかわらず約百七十人の女の子がきていた。すでに並ばざれていて友達連れで来ている子が多かったのが印象的だった。保護者は並べないため一人で並んでいた。4人ずつの列になっていたのとまだ時間が合った為、隣の女の子に話をした。どうやらその子は神奈川からきたらしく19歳の子だった。とても可愛く19歳には見えなかった。そして10時、会場入りである。ゾロゾロと女の子達が会場に入れられていく。会場は広いのだがなぜか半分しか使っていない。そしてテレビカメラやアナウンサー等も入りなんだか前のほうでやっている。しかし後ろの方には最初の並んでる画を撮る時くらいしか来なかった。チクシヨウと心の中で思いつつ女の子が説明を始めていた。オーディションについての説明なのだが正直聞い

てなかったので何を言っていたのかはわからなかった。そして審査が始まる。その女の子と一緒に緊張するねと言いながらぎりぎりまで話す。7ブースくらいあるので比較的順番は早く回ってきた。今回は私の事については触れませんが、審査の時間は40秒から1分くらい。これは個人差もあるが大体は第一印象で決められた。質問が1個の人と2個の人がいて、中には質問と言っても年齢を聞かれただけと言う人もいた。そのくらい審査の時点で明と暗がはっきりわかっていた。

審査は案外早く終わりその女の子(これからはMちゃんとする)と合格発表の3時までフジテレビに行こうと言う事になった。審査が終わるMちゃんと話していた。Mちゃんは審査日がどうやら誕生日だと言う。「絶対不合格だよ」と言うMちゃんに私は「大丈夫だよ!!!」と何度もこのやりとりが交わされた。そしてお台場に着く。すっかりヘトヘトでフジテレビに着くなりハネトビなどのグッズが売られている所などがあるイスの所で「疲れたね」とお互い休む事にした。しかし時間はまだ3時間ある。さてどうするかと思ったらその子が出したのはMDプレーヤー。それは全部ハロプロ系の曲だった。全部CD持っているよとニコニコで話していた。彼女は石川梨華ちゃんが大好きでモーニング娘。に入るために一人でカラオケで何時間も練習したと言っていた。死ぬ気でもモーニング娘。に入るとまで思った私が話を聞きながら「この子が合格するなら落ちてもいいな」と思った瞬間だった。その3時間Mちゃんと私が何をしていたかというひたすらフジ



テレビで二人で2つのイヤホンを1つずつして音楽を聴いていた。しかも全部ハロプロ。全部CDを持っていなかった為こんな風に聞くと曲の印象違うなあとか思いながら時間は過ぎた。

そろそろいかなきゃということでも3時間音楽を聞くだけのみに来たフジテレビを後にしMちゃんと結果発表が行なわれる東京ビッグサイトに向かった。その道中、あの子オーディションにいたよねと言う子がいっぱいいた。その日のお台場は女の子で溢れんばかりだった。さんざんしゃべっていた2人だったがMちゃんも私も無言になってしまいひたすらビッグサイトに向かっていた。そしてビッグサイトについて。

結果発表に来る女の子が列を作っていた。かなりの女の子の数だった。Mちゃんと私は相変わらず無言でしかし手をしっかり握っていた。緊張で汗ばんでいた事も気にならないくらい張り詰めていた。しかし3時になっても会場があかすどうやら係員がせかせかと忙しそうに人を探しているように伺えた。そして係員さんがアナウンスをし、いよいよ入場。どうやら全員会場に入れ番号を後ろと前に張り出すという随分原始的な方法だった。Mちゃんと私は手を繋いだままお互いただ一言「大丈夫」と言葉を交わしただけで、あとは無言のままだった。私はその時心の中でMちゃんが合格しますようにと祈っていた…。そしていよいよ結果発表。

係員がいつせいに紙をはがし女の子達の「あった！」と言う声が響いた。そして目を

開け私の番号よりも先にMちゃんの番号を探した…。

「なかった…。」

もちろん自分が無かった事もショックだったけれど、それ以上に隣を振り向いたときに涙目になりながら笑顔で居た彼女が何だか悲しかった。そしてMちゃんは最後まで涙は流さず笑顔で居た。瞳の奥に涙をうかべながら…。

Mちゃんはもちろんルックスも可愛かったし歌も上手かった。でも私が何よりもこの子に合格してほしいと思ったのはモーニング娘。が誰よりも好きなんだと言う事が伝わったから。本当に好きで憧れていてなりたいたんだなと感じたから。

「オーディション」

それは受けた人の数だけSTORYがあり、合格した人にもSTORYがあるのと同じように涙を流しあきらめていったたくさんの女の子がいてその頂点がモーニング娘。であるからこそその一人一人には必ず意味がある。

また行なわれるオーディションでまた新たなSTORYが始まるのかもしれない…。



☆記事募集のご案内☆

現在、「TOYBOX」では記事を書いてくれる方を募集しています。参加条件は無し、どなたでも歓迎いたします。

今回も引き続き編集部でテーマを設定いたしました。5月にはいよいよ石川梨華さんがモーニング娘。を卒業いたします。そこで・・・

次号分のテーマは

・石川梨華さん娘。卒業！

です。もちろん従来どおりで自分でテーマを設定して下さいでも結構です。文字数は1ページあたり約1000文字で、何ページでもOKです。画像の数・サイズによって変動しますのであくまでも目安としてお考え下さい。

文章は「TOYBOX」サイト内“mail”ページのフォームから投稿してください。また、縦書き・横書きの希望がございましたら併せてフォームへ記入して下さい。編集の都合上やむを得ない場合を除き、出来る限りの対応をいたします。

それでは読者の皆様からの投稿をお待ちしています。

本来であれば3月中に公開したかったのですが、事情により延びてしまいました。誠に申し訳ありませんでした。

次号は4月末の発行を予定しています。ゴールデンウィークが始まる頃には出したいと思っておりますが、その1週間後には石川梨華さんの卒業公演が控えております。そこで石川梨華さんの卒業に関する記事を募集いたします。これから美勇伝としての活動に専念する梨華ちゃん。そんな彼女のことを記事にして下さい。皆様からの投稿をお待ちしております。

執筆者紹介

まゆ	石川梨華・藤本美貴・夏焼雅推し。別名DD（笑）
ゆっこ	藤本美貴推し。女性の視点からハロプロを分析。
flight	亀井絵里推し。『えりりんどっとこむ』を運営中。今回の表紙デザインも担当
えり	ラッキー7オーディションに参加、モーニング娘。を夢見る中学生
カゴカゴ	加護亜依推し。『comicKAGO』を運営中。マンガ担当
ハイマン・ロス	辻希美推し。『ののすいと』を運営中。デザイン担当